

12. 歯根未完成歯抜髄後の創傷治癒について

◦長谷川喬（北九州市・長谷川歯科）

木村光孝（九歯大・小児）

歯根未完成歯の歯髄処置に関して、とくに抜髄後の創傷治癒についての報告は非常に少ない。過去の文献をみても臨床的あるいは実験的な報告はあるが、完全な抜髄が行われておらず、残髄後の変化を観察し、その後の根尖閉鎖の報告をしたものが少なくないようである。そこで演者らは完全なる抜髄操作が行われたかどうかを確認した後、その後の創傷治癒を観察したので報告する。

13. 乳歯抜歯創の創傷治癒に関する病理組織学的研究

◦三箇正人，木村光孝

（九歯大・小児）

日常の小児歯科臨床において、乳歯はう蝕の進行が早く保存不可能と診断され、抜歯される場合が非常に多い。抜歯窩の修復過程および周囲組織の変化に関する研究は多く、そのほとんどが永久歯によるものである。そこで演者らは生後3カ月前後の幼犬の乳臼歯歯牙欠損後の抜歯窩および周囲組織の変化に関して病理組織学的に検索し、さらにラベリング法、マイクロラジオグラフィにより検索を行っているので報告する。

14. 乳歯放射線照射の口腔組織への影響について

◦池田政信（北九州市・池田歯科）

木村光孝（九歯大・小児）

近年歯科の分野において、放射線治療の進歩発展はめざましいものがある。とくに口腔領域の悪性腫瘍に対しては放射線治療の占める割合は多いが、放射線の照射により、